



# 吸水

夜間(温度が下がる)  
植物が水を欲しがらない



# 放水

日中 (温度が上がる)  
植物が水を欲しがる



**標準使用量**  
 用土1リットルに対し3g混合してください。  
 (使用状況により1~5gの範囲で増減)  
 ※上から土をかぶせてサーモゲルFKZが露出しないようにして下さい。

**水やり方法**

- ① はじめの1~2日は1日に2回水やりをしてサーモゲルFKZに充分吸水させてください
- ② その後は、日中、気温の高い時をさけて水やりをしてください
- ③ 水やりの間隔はそれぞれ植物の特性により異なるので、植物の様子をよく観察して決めて下さい。  
 (夏場:1~3日おき、春・秋:2~7日おき等、とくに外気温で左右します)

農林水産・食品産業技術振興協会から土壤にサーモゲル粒剤を混合した培養土効果が紹介されています。

原料のゼオライトは、天然に産するアルミノケイ酸塩鉱物で、結晶構造の微細孔内に水分子を吸着し、また放出します。この特質を応用したのがサーモゲルです。植物の水ストレスを軽減するためには、適切な土壤水分の調整が必要です。これを可能にしたのがサーモゲルです。

バラ、ラン、菊、観葉植物、山野草等に！

サーモゲル®FKZってなに？

土に混ぜて使う保水剤です。  
原料となるサーモゲルにゼオライト等  
を混ぜ、園芸用に改良したものです。

特に鉢植えやコンテナ、ハンギング・  
バスケット等向きの商品です。

サーモゲル®ってなに？

おむつなどに使われている吸水ポリマー  
の一種で感温性という一定の温度を  
境に吸水→放水、放水→吸水を繰り返す  
特徴を待ちます。(1万回以上)



つまり

日中、植物が水を欲しが  
(温度が上がる)ときには**放水**し、  
夜間、植物が水を欲しがらない  
(温度が下がる)ときには**吸水**します。  
ですから、  
これまでの保水剤とは違い、  
**保水効果**が長持ちします！  
水やりの手間の軽減はもちろん、  
夏場の旅行も可能です。

具体例

サーモゲル  
の効果

1gで50cc以上の水を吸収して、土壌  
の温度が設定温度(20、25、30℃)を  
上回ると、ゆっくりと水を放水します。  
このため、朝夕の涼しい時間に十分に  
水を与えると、たくさん水を吸収貯留  
し、昼間温度が上がると放水します。また、  
夕方になり温度が下がると“サーモゲル”

が水を回収するので、夜間は水分過剰にならず徒長する  
こともなくガッチリと育ちます。また、設定温度に達しない  
低温期には、放水しなくても“サーモゲル”から直接吸水  
することもできるので、貯水タンクの役割も果たして  
くれます。土層表面が乾きにくいので、根の張る範囲が  
広くなり活動が活発になります。

サーモゲルを混合した場合とそうでない場合は、右の  
ような差異が顕著にみられます。

サーモゲル入り			
なし			
	4号ポットへの 灌水3日目	ガザニヤ苗の 生育状況	ガザニヤ苗 上のサーモゲル入り 386gに対して下の 普通土は258g

▶ 生長が早くなり葉の形状もよく、枚数が多い。(生育の差は歴然)

基本的な使用方法

- ・土1リットル(10cm<sup>3</sup>)に対して2~3gを目安に上限5gまでを土とよく混ぜます。
- ・植物を植えた後、表面に土を被せ、サーモオアシスの顆粒が露出しないようにします。
- ・最初の1~2日間は1日に2回水やりをしてサーモオアシスに水を吸収させます。
- ・それ以後は土の表面が乾いたら水をあげるぐらいの間隔にして下さい。

吸収するのは当たり前  
放水もする保水剤

